

作成日：2011年03月25日

改訂日：2018年07月01日

安全データシート（追加情報）

1. 化学品及び会社情報

製品名：ワイドコート

会社名：日産化学株式会社

住所：東京都中央区日本橋二丁目5番1号

担当部門：農業化学品事業部企画開発部登録グループ

電話番号：03-4463-8310 FAX番号：03-4463-8331

緊急連絡電話番号：農薬中毒事故時の問合せ先 公益財団法人日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話 (情報提供料：無料)	医療機関専用有料電話 (一件2,000円)
大阪 (365日・24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば(365日・9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

用途及び使用上の制限：農薬（展着剤）、農薬登録内容以外の使用は不可

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の製品安全データシート（SDS）

「ワイドコート」（日本化薬株式会社、改訂年月日：2014年8月18日）を参照してください。

製品安全データシート ワイドコート

製品安全データシート

1 製品名及び会社情報

製品名： ワイドコート  
 会社名： 日本化薬株式会社  
 住所： 東京都千代田区丸の内2丁目1-1  
 担当部門： アグロ事業部  
 電話番号： 03-6731-5325  
 FAX番号： 050-3730-8045  
 緊急連絡先： 平日昼間 アグロ事業部(電話番号 03-6731-5325)  
 休日・夜間 鹿島工場(電話番号 0479-46-2753)  
 メールアドレス： agro.info@nipponkayaku.co.jp  
 推奨用途及び使用上の制限： 農薬(展着剤)

2 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性：急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分5
皮膚刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
皮膚感作性	区分1 B
変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分外
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分外
環境に対する有害性：水生環境有害性(急性)	区分2
水生環境有害性(慢性)	区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 危険  
 危険有害性情報： 飲み込むと有害  
 皮膚に接触すると有害のおそれ  
 皮膚刺激  
 重篤な眼の損傷



日本化薬株式会社  
整理番号：  
作成年月日：2010年 5月11日  
改訂年月日：2014年 8月18日

## 製品安全データシート ワイドコート

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
水生生物に毒性  
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き：

[安全対策]

取扱い後はよく手を洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
ヒューム/ガス/ミスト/スプレーの吸入を避けること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
必要な時以外は環境への放出は避けること。

[応急措置]

飲み込んだ場合： 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。  
皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して  
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。  
漏出した場合： 漏出物を回収すること。  
[保管] 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
[廃棄] 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理  
業者に委託処理すること。

### 3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名： ① ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム  
② ポリオキシエチレンアルキルエーテル

成分及び含有量：

成分	含有量(%)	CAS番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
①ジオクチルスルホ コハク酸ナトリウム	22.5	577-11-7	2-1623	—
②ポリオキシエチレン アルキルエーテル	50.0	68131-40-8	7-97	—
その他、凍結防止剤等	27.5	営業秘密につき非公開		

危険有害成分： 特に知られていない。

## 製品安全データシート ワイドコート

### 4 応急処置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師の処置を受ける。  
多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをし、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合： 直ちに石鹼と水を使いよく洗い流し、皮膚刺激が生じた場合、速やかに医師の診断を受ける。汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。
- 眼に入った場合： 清浄な水で15分間以上眼を洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は可能な限り取り除いて洗浄する。
- 飲み込んだ場合： 直ちに水で口をすすぎ、気分が悪い時は医師の診断を受ける。
- 応急処置をする者の保護： 救助者はゴム手袋と保護眼鏡などの保護具を着用する。

### 5 火災時の処置

- 消火剤： 粉末消火剤(リン酸塩等を使用するもの)、粉末消火剤(炭酸水素塩等を使用するもの)、二酸化炭素、泡消火剤、乾燥砂、膨張ひる石、膨張真珠岩、霧状水
- 使ってはならない消火剤： 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。
- 特定の消火方法： 消火作業は出来る限り風上からおこなう。  
周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。  
火災発生場所の周辺は、関係者以外の立入を禁止する。  
消火のための放水等により、環境に影響をおよぼさないよう、適切な措置を行う。
- 消火を行うものの保護： 消火作業は風上からおこない、有毒なガスの吸入を避ける。  
消火に当たる者は、適切な呼吸保護具/耐熱性の防護服等を着用する。

### 6 漏洩時の処置

- 人体に対する注意事項： 適切な保護具を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないように注意する。風上から作業する。
- 環境に対する注意事項： 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないようにする。
- 除去方法： 土砂、その他の吸収剤で漏洩物を吸収し、密閉できる廃棄物用容器に回収する。
- 二次災害の防止： 漏出した場所の周囲にロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。  
風上から作業し、風下の人を避難させる。  
火花を発生しない、安全な器具を使用する。

## 製品安全データシート ワイドコート

付近の着火源となるものを速やかに除くと共に、消火剤を準備する。

### 7 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

- 技術的対策： 取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
- 安全取扱い注意事項： 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。  
保護眼鏡、保護手袋などの適切な保護具を着用する。  
(火災・爆発の防止)  
火気を避け、過熱したり、摩擦、衝撃を与えない。  
静電気対策のために、装置、機器などの接地を確実に行う。  
工具は火花防止のものを用いる。  
作業は換気の良い場所で行うこと。  
ヒューム、ミスト等を発生させない。  
取扱い後は、手、顔等をよく洗うこと。

#### 保管

- 適切な保管条件： 通気の良い場所で容器を密閉して保管する。  
冷暗所に保管する。  
食品や試料と同じところに保管しない。  
火気、熱源より遠ざける。  
アルカリ性物質とは同一場所に保管しない。  
酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。
- 安全な容器包装材料： 製品使用容器に準ずる。

### 8 暴露防止及び保護処置

- 設備対策： できるだけ密閉された装置、機器内で取り扱うか、または局所排気装置の設置または全体換気を適切に行う。  
取扱場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 管理濃度： 設定されていない。
- 許容濃度
- 日本産業衛生学会： 勧告値  
①②ともに、設定されていない。
- ACGIH： ①②ともに、設定されていない。
- 保護具
- 呼吸器用の保護具： 送気マスク、自給式呼吸器
- 手の保護具： 保護手袋
- 目の保護具： 保護眼鏡(普通めがね型、側板付き普通めがね型、ゴーグル型)  
保護面(防災面)
- 皮膚及び身体の保護具： 保護服、保護長靴、保護前掛け、長袖作業着

製品安全データシート ワイドコート

9 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：	液体
色：	淡黄色澄明
臭い：	わずかな特異臭
pH：	5～8 (20%溶液/25℃)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点：	測定せず
融点：	該当せず
引火点：	134℃
爆発特性：	未測定
比重：	1.05 (20℃)

溶解性

溶媒に対する溶解性： 水、アセトン、メタノールに易溶

10 安定性及び反応性

安定性：	通常の取扱い条件では安定である。
反応性：	塩基性物質、酸性物質により加水分解を受ける。
避けるべき条件：	酸性物質、塩基性物質との混触禁止。
危険有害な分解生成物：	一酸化炭素、炭酸ガス

11 有害性情報

急性毒性	経口	ラット LD <sub>50</sub> 雌, 300 < LD <sub>50</sub> ≤ 2000 mg/kg	(区分4)
	経皮	ラット LD <sub>50</sub> 雌雄, > 2000 mg/kg	(区分5)
	吸入	情報なし	(分類できない)
皮膚腐食性・刺激性：		ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、3例中全例で区分2の分類基準を満たす刺激性変化(紅斑)が認められたため、区分2とした。	
眼の重篤な損傷・刺激性：		ウサギを用いた眼刺激性試験において、区分1の分類基準を満たす不可逆的影響が認められたため、区分1とした。	
呼吸器感作性：		情報なし	(分類できない)
皮膚感作性：		モルモットを用いた皮膚感作性試験(Buehler法)において、本製品の局所投与により、感作率80%で皮膚反応が認められたため、区分1Bとした。	
変異原性：①		復帰変異, 陰性	(区分外)
	②	復帰変異, 陰性	(区分外)
		製品中の主要成分が区分外であるため、区分外とした。	
発がん性：①		文献情報において、発がん性を示す確証なし	(区分外)
	②	文献情報において、発がん性陰性の情報あり	(区分外)
		製品中の主要成分が区分外と考えられるため、区分外とした。	

## 製品安全データシート ワイドコート

生殖毒性：① 文献情報において、生殖毒性陰性の情報あり (区分外)  
② 文献情報において、生殖毒性陰性の情報あり (区分外)  
製品中の主要成分が区分外であるため、区分外とした。

### 特定標的臓器毒性(単回暴露)：

本製品のラットに対する単回投与試験において、非致死用量を投与した動物の特定臓器における毒性影響が認められなかったため、区分外とした。

### 特定標的臓器毒性(反復暴露)：

本製品の主要成分について、特定臓器に対して重大な機能障害を引き起こす変化が認められたという情報がなかったため、区分外とした。

吸引性呼吸器有害性： 情報なし (分類できない)

## 1 2 環境影響情報

生態毒性(水生生物)：	コイ	急性LC <sub>50</sub>	7.00 mg/L (96時間)
	オオミジンコ	急性遊泳阻害EC <sub>50</sub>	8.98 mg/L (48時間)
	緑藻	生長阻害E <sub>r</sub> C <sub>50</sub>	16.9 mg/L (72時間)

## 1 3 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

下水道、いかなる水域、土地にも投棄してはならない。

汚染容器、包装： 容器・包装等を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

使用した器具を洗浄する際、環境や水の汚染を避けること。

空容器を再利用してはならない。

## 1 4 輸送上の注意

国際規制 陸上輸送：ADR/RID クラス9 PGIII

海上輸送：IMDGコード クラス9 PGIII

航空輸送：ICAO/IATA クラス9 PGIII

国連分類： クラス9 (環境有害性物質)

国連番号： 3082

品名(国連輸送名)： ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.

国内規制 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法 危険物船舶運送及び貯蔵規則 第3条 有害性物質

航空輸送：航空法 航空法施行規則 第194条 その他の有害物件

輸送の特定の安全対策及び条件：

容器が破損しないように、混載するときは注意すること。

取り扱い及び保管上の注意事項に留意する。

製品安全データシート ワイドコート

1 5 適用法令

農薬取締法	適用												
毒物及び劇物取締法	非該当												
消防法	危険物第4類第3石油類 水溶性												
労働安全衛生法	以下のものは第57条の2(通知対象物)に該当 非該当												
化学物質管理促進法	(2009年10月1日に施行された改正法に伴う記載) 以下のものは指定化学物質に該当												
	<table border="0"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種別</th> <th>番号</th> <th>含有率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポリオキシエチレンアルキルエーテル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>第一種</td> <td>407</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	種別	番号	含有率	ポリオキシエチレンアルキルエーテル					第一種	407	50%
名称	種別	番号	含有率										
ポリオキシエチレンアルキルエーテル													
	第一種	407	50%										
高圧ガス保安法	: 該当せず												
化審法	: 特定化学物質・監視化学物質に該当せず。												
船舶安全法	該当せず。												
海洋汚染防止法	プロピレングリコールは有害液体物質(Z類) ポリオキシエチレンアルキルエーテルは有害液体物質(Y類)												
航空法	該当せず。												

1 6 その他の情報

記載内容の問合せ先:	アグロ事業部 03-6731-5325
改訂の記録:	作成 2010年05月11日 改訂 2011年02月02日 最終改訂 2014年08月18日
引用文献:	国際連合 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)(改訂3版) CERI有害性評価書(財団法人 化学物質評価研究機構) WHO JECFAモノグラフ No. 723 農薬登録申請試料

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。また、記載事項は通常の手続きを前提としたものであるため、特別な取り扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、お取り扱い願います。